

とぎつちよう　うちどく　すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん　む　ねん　はるごう
中学年向け　２０２５年　春号



「大阪万博1970」

おおさかばんぱく
藤川 智子/著 白井 達郎/監修（ほるぷ出版）

いよいよおおさかばんぱく大阪万博2025がかいさい開催されます。
みんながうまれるずっとまえ、55年前にも大阪
ばんぱくで万博がありました。そのときようす
えほん絵本になっています。当時のあたらしいぎじゆつ、つか
われていて、いろんなてんじ展示があったそうです。
ねんまえ、ばんぱく、し、じ、だい、へ、かいさい
55年前の万博を知り、時代を経て開催される
おおさかばんぱく大阪万博2025にもちゅうもく注目してみよう！

うちどく 家読とは

かぞく家族みんなで好きなほん本を読んで、よんだほん
について話す。これが「うちどく（家読）」
です。むずかしいルールはいりません。
かぞく家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

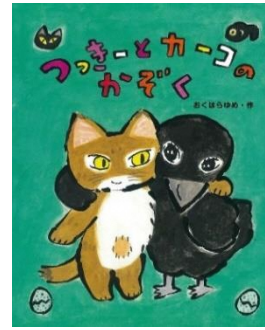
かぞく家族で同じほん本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんによみき聞かせをしたりとたのしい
じかん時間をすごしましょう。



「グレイ・ラビットのおはなし」

アリソン・アトリー/作 石井 桃子、中川 李枝子/訳
（岩波書店）

はたらきもののグレイ・ラビットは、ちい
さいな灰色うさぎ。うぬぼれのの野うさぎヘアと、い
はりのリスのスキレルとくらしています。あ
るひのこと、わるいイタチがヘアとスキレルをさ
らっていきましました。このままだと、2匹は食べ
られてしまいます。どうする、グレイ・ラビッ
ト！ハリネズミやフクロウ、モグラやキツネな
ど、さまざまなもりどうぶつ森の動物たちがくりひろげる、
たのしいものがたり物語です。

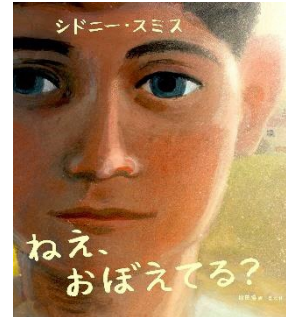


「つっきーとカーコのかぞく」

おくはら ゆめ/作（佼成出版社）

ねこの「つっきー」とカラスの「カーコ」
は、おさななじみでいつもいっしょです。さいきん
のカーコは、はなうたをうたうくらいごきげんで
す。そのわけは、もうすぐカーコのかぞくがふえ
るから。でも、つっきーはそれを見るとちょっ
ぴりきもちがしずんでしまいます。自分でもど
うしてなのかわからない、つっきー。

あるひ、ふたりはおまつりにでかけましたが
…。



「ねえ、おぼえてる？」

シドニー・スミス/作 原田 勝/訳（偕成社）

「ねえ、おぼえてる？」とだれかにきいたとき、
「もちろん、おぼえているよ！」とこたえてもら
えたら、なんだかうれしいきもちになります。
たのしかったおもいで、かなしかったおもいで…。
いろいろなおもいでが、ごはんのえいようおな
あなたやわたしをつく作っています。

しずかにしずかにここにしみこんで、そっとせ
なか、お、えほん
中を押してくれる絵本です。



「のんきなりゅう」

ケネス・グレアム/作 インガ・ムーア/絵
中川 千尋/訳（徳間書店）

むかしむかし、なんびやくねん百年もむかし、りゅう
うがほらあなにすんでいました。あるひ、ひ
つじかいの男の子は、みかけはおそろしい
けれどやさしくてのんきなこのりゅうと、とも
ちになります。ところが、おびえるむらびと
がりゅう退治をお願いした、せいジョージが村
にやってきてしまい…。男の子がりゅうを
たす助けるためにかんがへたほうほう方法とは？
よめばこころあたたまるものがたり物語です。



「ふるびたくま」

クレイ・カーミッシュル/作 江國 香織
（BL 出版）

あるひ、ずっとクララのおきに入りだっ
た、ぬいぐるみのくまは、かなしくなりまし
た。だって、すりきれて、おんぼろになっ
てしまったから。他の動物たちは笑います。
「お前みたいなぼろじゃ、はずかしいもん
な」。そんなくまに、クララがしてあげたこ
とは…。作者のカーミッシュルがたいせつ
まのためにした、ほんとうにあったおはなしで
す。

とぎつちようりつ　とぎつとしょかん
発行：時津町 立時津図書館